

室 都 計 第 8 1 号
平成20年10月6日

国土交通省道路局長 殿

室蘭市長 新 宮 正 志



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案」を提出しますので、よろしくお取り計らいをお願いいたします。

室蘭市都市建設部都市計画課
電話. 0143-25-2592

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道室蘭市

- ・ 適切なメンテナンスは当然であるが、増え続けた道路ストックを管理する経費は今後ますます増加することになる。道路の改良や維持管理費は厳しい地方財政を圧迫しているため、財源を確保して地方の道路のバリアフリー化など改良や維持管理をする財源に充当する必要がある。
- ・ 道路は人々の生活に重要な役割を持っているが、その地域に住む人々によって利用の仕方やニーズも異なっている。これまでの型にはまった管理ではなく、その地域に住む人々の意見を反映した、地域のためになる空間利用による地域活性化を考える必要がある。
- ・ 無駄な公共投資と言われることのないように、今後は市民のニーズの的確な把握や理解が必要となるので、施策の展開に当たっては、行政と市民の協働による取り組みが必要である。
- ・ 燃料高騰時の生活支援策として、高速道路利用料金の引き下げについて、ＥＴＣ車両や休日期間限定しない抜本的な見直しを行うなどの柔軟な取り組みが必要である。

②－１ 地域の現状と抱える課題

北海道室蘭市

○現状

- ・ 室蘭市の中央地区は行政機能や高次医療機能が集積している。
- ・ 特定重要港湾である室蘭港は流通拠点港並びに防災拠点港として重要な役割を担っている。
- ・ 本市の持つ産業基盤や高度な技術を活用した室蘭地域環境産業拠点が形成されている。
- ・ 白鳥新道２期区間のあり方や必要性については、市民フォーラム・市民ワークショップ（Ｈ１８～１９）開催により論議されており、合理的な変更案がまとめられている。
- ・ 国道３７号の一部区間が２車線あるいは急カーブになっており、渋滞や交通事故が発生している。
- ・ 室蘭市は白鳥大橋や地球岬等、観光資源の多い西胆振の中心都市である。
- ・ 道路の改良や維持管理費は厳しい地方財政を圧迫している。

○課題

- ・ 医療、産業、港湾、観光、防災等、広域拠点として多様な生活と活動を支えるため、中央地区と西胆振各都市とのアクセス強化・向上が求められており、白鳥新道２期区間の早期着手が課題となっている。
- ・ 白鳥新道２期区間の見直しにあたっては、現在の道路状況やニーズの徹底した把握により、コスト削減や道路の有効利用を前提とし、且つ市民合意が得られており、手法や制度を柔軟に検討するとともに合理的な変更として尊重すべきである。
- ・ 国道３７号については、渋滞の解消や交通事故減少を図るため、陣屋町から石川町までの急カーブ、急勾配の解消と４車線化が必要であり、併せて本輪西町から陣屋町までの４車線化が求められている。
- ・ 白鳥大橋から地球岬へと続く広域観光ルートとして重要な路線となっている道道中央東線山手ルートは、急勾配で狭い市道しかなく、乗用車のすれ違いですら厳しい状況で、大型バスの通行は不可能になっている。
- ・ 財源を確保して、地方の道路のバリアフリー化などの改良や維持管理を支援する必要がある。

②ー２ 地域の目指すべき将来像

北海道室蘭市

(第５次室蘭市総合計画)

○ まちづくりの方向

サークル都市の形成に対応して、計画的かつ効率的な土地利用や市街地整備を図るとともに、市内及び広域道路網の整備を促進します。

○ まちづくりの目標

白鳥大橋を活かし、利便性が高く、人に優しい安全で円滑な交通網を目指します。

○ 目標に向けた取り組み

既存道路の改良や舗装等により、機能性や安全性を維持・確保するとともに、西胆振の産業を支える広域幹線道路網として、白鳥新道２期区間の早期整備への取り組みを進めます。

(室蘭市都市計画マスタープラン)

○ 交通体系整備方針

- ・ 室蘭市の広域幹線道路については、国道３６号、３７号は道央圏及び道南圏の動脈として重要な広域幹線道路となっており、２車線区間の４車線化および急カーブの解消などによる幹線道路としての機能向上の促進が必要です。
- ・ 広域幹線道路の骨格の形成と、医療、産業、港湾、観光、防災等、広域拠点として多様な生活と活動を支えるため、白鳥新道２期区間の早期整備の促進が必要です。
- ・ 室蘭市の幹線道路については、今後、より一層の市民生活の向上と各地域間の連携強化のため整備を進めていきます。また、未整備路線については整備効果を検討し、適切な対応を行っていきます。
- ・ 歩道については高齢者・障がい者にやさしいバリアフリー化の整備を進めるとともに、緑を配置し、安全で潤いのある歩行者空間のネットワーク化を進めていきます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道室蘭市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 国際競争力の強化のための交通サービスの向上 ・ 地域活力の向上 ・ 都市交通の快適性、利便性の向上 ・ 大規模な地震、火災に強い国土づくり等 ・ 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・ 循環型社会の形成	白鳥新道２期区間	・ 特定重要港湾室蘭港とのアクセスによる物流機能の強化 ・ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクトの支援 ・ 広域幹線道路ネットワークの形成による北海道の観光産業への貢献 ・ 防災フロートや耐震岸壁を有する室蘭港とのアクセスによる防災拠点港としての機能強化 ・ 緊急搬送時間の短縮による緊急医療体制の強化 ・ 本市の持つ産業基盤や高度な技術を活用した室蘭地域環境産業拠点形成の支援	